

南アフリカ為替週報

2023年11月23日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き> (11月16日～11月22日)

USD/ZAR: 18.1491～18.8977

ZAR/JPY: 7.91～8.34(参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は対ドル・対円・対ユーロで大幅反落。南ア国内の経済環境の悪化も意識されている可能性もあるだろうが、主因は外部要因であろう。11月14日に米10月CPIが公表された後、しばらく続いていた米金利低下・ドル安の流れが急速に巻き戻された形だ。一方、南ア国内の材料では、10月分CPIは市場予想を大幅に上回ったほか、計画停電のレベルが引き上げられ、さらに国営電力会社は今後、計画停電がしばらく継続する可能性があるとしており、経済環境は安定化とは程遠い。

11月23日の南アフリカ準備銀行(SARB)の金融政策発表を控え、11月22日の10月分CPIが市場の注目を集めた。結果は前年同月比+5.9%と9月分の同+5.4%から加速し、市場予想の同+5.6%も上回った。

CPIの上振れを受けて、SARBは特にコミュニケーション面では難しいかじ取りを迫られよう。10月分のCPIの上振れの要因はほぼ100%、エネルギー価格の高騰で説明できることから、「一時的」として無視することも無理筋ではない。特に、10月以降のランドの反発や、国際原油価格の下落もあり、国内のエネルギー価格上昇は沈静化に向かう公算が大きいからだ。

もっとも、ここでも計画停電の慢性化がインフレ抑制に影を落とす形になろう。電力不足は国内の需要を抑制する一方(インフレ低下要因)、供給をも抑制することになるためだ(インフレ押し上げ要因)。SARBは電力不足は総じてインフレ加速要因という立場である。

SARBは11月23日の会合で政策金利を8.25%で据え置くと見られるが、SARBがタカ派姿勢を後退させるシナリオは考えにくく、同中銀は政策金利を「高く、より長く」の姿勢を崩さないと思われる。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
11/22	08:00	CPI(前年比)	10月	5.6%	5.9%	5.4%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し> (11月23日～11月29日)

USD/ZAR: 18.00～19.50

ZAR/JPY: 7.60～8.50

今後1週間のランド相場は引き続き、外部環境の動向に敏感な展開が続くだろう。過去1週間のドルの反発を受けて、米10月CPI発表後の米金利低下・ドル安は終了したとの見方が市場で広まる公算が大きい。経常赤字と財政赤字の双子の赤字や、低迷する経済成長率など、南アの経済ファンダメンタルズには脆さがあり、外部環境が再び逆風となりつつある中、ランドには再び下落圧力がかかりやすい点には注意が必要となろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

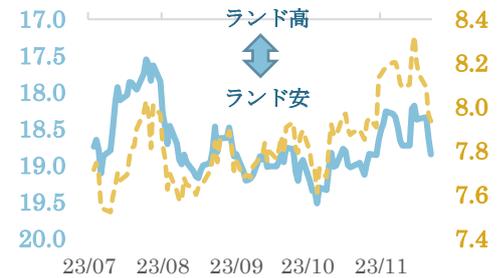
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
11/23		政策金利発表		8.25%		8.25%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

実線:対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線:対円レート(右軸)

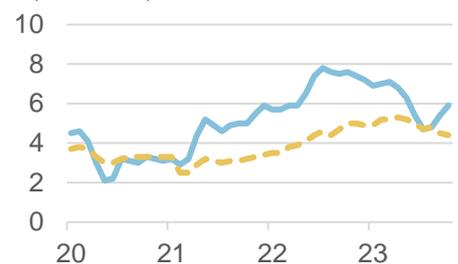


南ア 消費者物価指数(CPI)

実線:ヘッドライン

点線:コア

(前年比%)



ハウテン州 ガソリン価格

(ランド/リットル)



(資料:SARB、南アフリカ統計局、ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

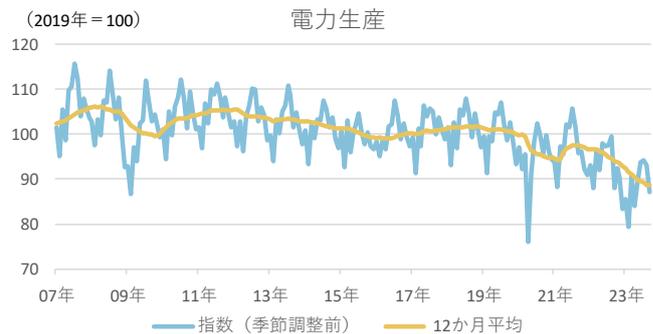
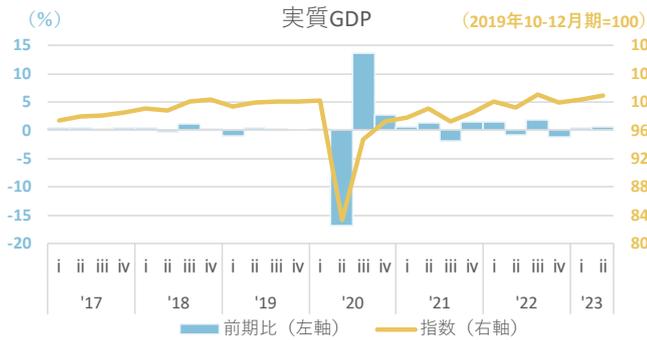
中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

南アフリカ為替週報

2023年11月23日 | みずほ銀行欧州資金部

＜主要経済指標の推移＞



* 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。

経済アナリストや企業などが調査対象となっている。

ブレイクオープンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。

* 2 : 月次データ。ただし、2023年11月は1日から21日までの累計値。

(資料：南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルク証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。